

# 中長期留学報告

*School of Global Humanities and Social Sciences*

*Edited: 2022*





「中長期留学報告」の内容は、  
実際に留学に行った多文化社会学部の学生による  
留学報告をもとに作成しています。

費用や条件などは実際のそれとは大きく異なる場合がありますので、  
本書は留学の参考にさせていただければ幸いです。



イギリス(学生からの提供写真)

## 目次

### GENERAL INFORMATION

---

留学費用	.....	2
語学検定試験・奨学金・留学タイムライン	.....	3

---

### UNITED STATES OF AMERICA



---

アメリカ留学について	.....	4	
協定校情報	カリフォルニア州立大学モンレーベイ校	.....	5
	ベネディクティン大学	.....	8
	ノースイースタンイリノイ大学	.....	9
	ノーザン州立大学	.....	10
	ペンシルベニア州立インディアナ大学	.....	12

---

### CANADA



---

カナダ留学について	.....	13	
協定校情報	カルガリー大学	.....	14
	レスブリッジ大学	.....	15

---

### UNITED KINGDOM



---

イギリス留学について	.....	17	
協定校情報	オックスフォード・ブルックス大学	.....	18
	キール大学	.....	21
	アバディーン大学	.....	23

---

### SPAIN



---

スペイン留学について	.....	24	
協定校情報	マラガ大学	.....	25

---

### GERMANY



---

ドイツ留学について	.....	27
-----------	-------	----

---



# General Information

## 留学費用

北米・欧州		アメリカ	カナダ	イギリス	スペイン	ドイツ	ポルトガル	オランダ
渡航費用	渡航費	160,000	160,000	170,000	170,000	170,000	190,000	170,000
	ビザ申請料	40,000	20,000	40,000	0	13,000	0	0
	合計	¥200,000	¥180,000	¥210,000	¥170,000	¥183,000	¥190,000	¥170,000
留学費用(半年)	海外旅行保険	45,850	45,850	45,850	45,850	45,850	45,850	45,850
	健康保険	96,000	—	—	—	55,000	—	—
	教科書代	14,667	17,500	2,250	0	5,000	0	11,000
	合計	¥156,517	¥63,350	¥48,100	¥45,850	¥105,850	¥45,850	¥56,850
1か月の生活費	住居費	89,111	67,500	74,375	53,400	40,000	46,000	62,200
	食費	30,222	13,000	31,875	21,667	15,000	30,000	23,400
	携帯電話	3,744	1,500	1,688	3,217	2,000	1,000	1,440
	交通費	389	1,250	1,075	3,167	0	3,000	5,200
	その他	11,000	5,500	7,750	33,333	5,000	0	7,000
	合計	¥134,466	¥88,750	¥116,763	¥114,784	¥62,000	¥80,000	¥99,240

## オセアニア・アジア

オセアニア・アジア		オーストラリア	マレーシア	ブルネイ	フィリピン	中国
渡航費用	渡航費	160,000	115,000	100,000	120,000	80,000
	ビザ申請料	50,000	0	1,200	30,000	8,400
	合計	¥210,000	¥115,000	¥101,200	¥150,000	¥88,400
留学費用(半年)	海外旅行保険	45,850	45,850	45,850	45,850	45,850
	健康保険	23,000	—	—	—	—
	教科書代	10,750	500	0	1,500	3,000
	合計	¥79,600	¥46,350	¥45,850	¥47,350	¥48,850
1か月の生活費	住居費	69,176	26,650	20,000	3,300	15,000
	食費	19,968	20,000	15,000	30,000	15,000
	携帯電話	5,620	375	0	800	850
	交通費	2,557	763	0	500	800
	その他	12,744	4,000	1,000	0	10,000
	合計	¥110,065	¥51,788	¥36,000	¥34,600	¥41,650

- ※ 上記金額は、留学報告書に記載されていた金額の平均値です。
- ※ 上記のビザ申請料には、大使館までの旅費、通信費、その他査証申請に必要な書類発行手数料等は含まれておりません。
- ※ 為替相場や経済状況等により実際の費用とは大きく異なる場合があります。

## 語学検定試験

### スコア換算表（目安）

IELTS	TOEFL iBT	TOEIC	英検
9.0	116 -	N/A	N/A
8.0 - 8.5	106 - 115	N/A	N/A
7.0 - 7.5	95 - 105	945 - 990	1級+
6.0 - 6.5	72 - 94	805 - 940	準1級 - 1級
5.0 - 5.5	55 - 71	605 - 800	2級 - 準1級
4.0 - 4.5	42 - 54	410 - 600	2級

### 必要な学習時間

CEFR	IELTS	必要学習時間
C2	9.0	1,000 - 1,200 時間
C1	8.0	700 - 800 時間
B2	7.0	500 - 600 時間
B1	6.0	350 - 400 時間
A2	5.0	180 - 200 時間
A1	4.0	90 - 100 時間

参考：Cambridge Assessment English

## 奨学金

過去に先輩たちが受給した奨学金例です。実際の支給とは異なる場合があります。

奨学金	支給額(1ヵ月あたり)	備考
JASSO	60,000～100,000 円	支給額は渡航先に応じて決定
長崎大学海外留学奨学金	60,000～100,000 円	支給額は渡航先に応じて決定
中国政府奨学金	3,000 元	その他、学費・寮の免除あり
業務スーパージャパンドリーム財団	150,000 円	

## 留学タイムライン

	秋学期からの留学	春学期からの留学
 派遣候補者の募集開始	10 月	4 月
 学部出願期限	11 月下旬～12 月上旬	5 月下旬～6 月上旬
 学内選考	12 月下旬～2 月	6 月下旬～8 月
 学内選考結果通知	2 月	8 月
 留学先への出願手続き	2 月～4 月	8 月～10 月
 留学先での入学審査	4 月～6 月	10 月～11 月
 留学先からの入学許可	6 月～7 月	11 月～12 月
 留学準備(査証申請等)	7 月～8 月	12 月～1 月
 出国	8 月～9 月	1 月～2 月



# UNITED STATES OF AMERICA

## アメリカ留学について



### 日本から持参したほうがいいもの

生活用品	食品	その他
洗濯ネット 箸 爪切り 耳かき 歯ブラシ 体温計(摂氏と華氏と違う)	インスタント味噌汁 インスタントの日本食	ヒートテック(寒い地域) SIMカード(Amazonで購入) コロナワクチンパスポート



### 留学中の主なお金の管理方法

現地で口座開設	クレジットカード	キャッシング	デビットカード	プリペイドカード	現金
34%	22%	0%	22%	22%	0%



### ビザ情報

- ① DS-160 作成(オンライン申請)…1~2 時間ほどかかる
- ② SEVIS Fee の支払い…クレジットカードが必要
- ③ 面接予約…早めにしないと予約が取れなくなる可能性があります!
- ④ 福岡の領事館で面接…面接の前に書類を領事館に郵送
- ⑤ 面接を通過すると、ビザが張り付けられたパスポートが返送されてくる

## 履修について(最低履修科目数・履修時期・履修方法など)

最低履修数は12単位、履修限度は14単位。ほとんどの授業が4単位で、体育や文化系の授業のみ2単位だった。実際に受けてみると向き不向き等があるので、最初に多めに履修登録しておくことをお勧めします。

交換留学生は、現地の学生より早めに履修希望を出さなければいけないので、メールチェックを怠らないように。授業が始まった後の履修のキャンセル・変更は、授業開始から1週間以内であれば、大学のウェブサイトを通じて行うことができる。

授業の難易度は、100番台は難易度が低めで、400番台になると難しめになります。履修時に pre-request がある授業がありますが、留学生の場合、それらに関係なく履修できました。



先輩の平均履修科目数(学期毎) … 3.3 科目

## 授業について

授業は基本的に1回につき110分で、おおよそ20~30人程度で行われる。Zoomでの授業、対面授業、チームミーティング、ボランティア活動等、様々な形態で授業が行われていた。

課題は毎週しっかり出るし、予習は欠かせませんでした。予習はどの授業も事前に文献を読んてくるものばかりだった。特に、チームミーティング形式の授業では、意見を言うことが求められるので、予習は念入りに行う必要があります。

## 派遣先大学のサポート体制

到着後のオリエンテーションは1週間かけて様々な行事があり、グッズや食事の提供もあり、大学のことを知り、友達ができる期間がある。

ウェブサイトから予約すると図書館でレポートを添削してくれるサービスがあった。他にも語学に不安のある学生を支援するサービスがいくつかあった。バディ制度に申し込んでおくと、現地の学生が専属のバディとなって勉強だけではなく、日常生活や遊びに行く時まで一緒にいてくれるので便利だった。また、学生証を使うとバスが無料で乗り放題だった。

International Office はいつでも開いており、予約をすれば留学コーディネーターと面談もできるので、何かあればすぐに助けてもらえる。

週に3回程度の無料食品配給制度もあり、助かりました。

## 現地の到着空港から大学(寮)までの移動

渡航前に指定のサイトでシャトルバス(有料)を予約しておく、サンフランシスコ国際空港に到着後、Air Bus というシャトルバスで大学まで連れて行ってもらえる。

## 寮

私は Promontory を選びました。Promontory は2年次以降の学生しか入寮できない上、費用が少し高めなので比較的落ち着いていた。部屋は相部屋で、キッチン等も共有。Wi-Fi も完備されていた。

## 入寮する際に購入したもの

寝具、キッチン用品

## 寮の周辺情報

大体なんでも揃う Target まではバスで 20 分くらい。行きのバス停までは徒歩 10 分くらい。帰りは寮の目の前のバス停で下車できる。

## 寮から大学までの通学

メインキャンパスまでは徒歩 10 分程度。

## 現地での交通手段

CSUMB の学生はモントレイ内のバスは無料で乗り放題だったので、町まで気軽に出かけることができた。ただ、バスの便数は多くはありませんし、時間通りに運行していません。友人の車に乗せてもらったり、Uber や Lift を利用することも多々あった。旅行に行く際は、高速バス、飛行機を利用していた。

## 派遣先大学に対する感想

留学生が多いので大学も留学生慣れしており、サポートが充実していた。授業も大講義ではないので質問もしやすいし、先生にも覚えてもらいやすかった。小規模ゆえに先生からのサポートは手厚かったので、単位を諦めそうになっていた授業でも無事に単位を取得することができた。

気候は、暑すぎず寒すぎず、快適だった。ただ、肌寒いこともあるので、上着や長ズボンは必須だと思います。都会と田舎のちょうど間のような雰囲気 of モントレイが非常に好きだった。

## 留学中に行った旅行

【サンタクルーズ】友達の手で行った。それほど大きくはないが、モントレイから近く、ビーチ、遊園地、ショッピングなど色々できます。

【サンフランシスコ、ロサンゼルス】

Uber、高速バスを利用。観光名所やグルメ、有名スポーツチームも多く、公共交通機関も充実していて、何回か行った。ただ、治安の悪い場所もあるようなので、事前に調べて、その地域を避けることは絶対。ホテルや交通機関は間違えると危険性が高いので、ケチらずに命を優先させなければならないと学んだ。

【シアトル】飛行機を利用。観光名所も多く、比較的町全体の治安がいい。

【ラスベガス】飛行機を利用。街のキラキラ感はすごいが、治安は良くなさそうだった。ラスベガス発着のグランドキャニオンツアーはお勧め。

【サンディエゴ】高速バスを利用。独特な雰囲気に、人の優しさが素敵でした。メキシコ料理がお勧め。

【ニューヨーク】飛行機を利用。年末年始を利用して、約 2 週間滞在したが、それでも足りないくらいだった。年末のカウントダウンは気合が必要。

## この大学への留学を希望する人へのアドバイス

留学生が多いので、留学生同士の友達は作りやすいですが、この大学は日本人が多いため自然と日本人の友達ばかりできてしまう人が多いようです。

自身は危険を感じたことはなかったが、レイプや盗難の被害がキャンパス内で起こっていた。夜に一人で出歩いたり、貴重品から目を離したりしないなど、自分で危機管理をしっかりする必要があると思う。



### 履修について(最低履修科目数・履修時期・履修方法など)

最低履修数は12単位。人気の講義はすぐに定員に達してしまうため、とにかく履修登録はすぐに行うこと。自学期の履修登録は、前学期から始まるので要注意。



先輩の平均履修科目数(学期毎) … 3.5 科目

### 授業について

とにかく読みものが多いが、しっかり読んでいればそこまで困らない。授業形式は、講義形式とディスカッション形式に分かれていた。講義形式の授業があれば、予習よりも課題の方が多く感じました。

### 派遣先大学のサポート体制

留学生が少ないせいか、留学生に対するサポートが整っていないように感じました。

### 派遣先大学に対する感想

住宅街にあるアットホームな雰囲気のある大学。学生も少なく、キャンパスも小さいため、長崎大学よりも小規模であるような印象。私立大学なので、ある程度の設備は完備されており、寮もキャンパス内にある。

### この大学への留学を希望する人へのアドバイス

日本の協定校が少なく、他国からの留学生も少ないため、本当に地元の学生と友達になりたい人におすすめの大学です。



## 履修について(最低履修科目数・履修時期・履修方法など)

最低履修科目数は12単位。履修時期は、学期が始まる1か月前から3日程度前まで。履修登録はウェブ上(neiu port)で行う。



先輩の平均履修科目数(学期毎) … 4.5 科目

## 授業について

100~200レベルの授業は、講義形式で週に1回、その週に学ぶChapter(20~30ページ程度)に関するクイズがあったので、それに合わせて予習をしていました。

300以上のクラスを履修しない限りは、IELTS6.0あれば授業は問題ないと思います。

## 派遣先大学のサポート体制

留学関係のオフィスには、常に2~3人担当者がいたので、いつでも対応してくれました。

キャンパス内では常にWiFiがありました。

## 派遣先大学に対する感想

留学担当者らの知識のばらつきに加えて、大学全体でも留学制度やそのシステム等に十分に知っている人が少なかったため、問題があるとその対処に時間がかかってしまいました。

## この大学への留学を希望する人へのアドバイス

アフリカン・アメリカン、ヒスパニック系がとても多かったです。

大学内の体育館では、無料でエクササイズのクラスが受けられるのでおすすめです。

調味料等は割高だが、現地のコリアンマーケット(たくさんある)で買えます。



## 履修について(最低履修科目数・履修時期・履修方法など)

最低履修科目数は、1学期につき12単位(大体1科目につき3単位)。履修は留学開始前にノーザン州立大学から履修登録方法についてのメールが届くので、それに従って”Web Adviser”というページで登録を行う。予防接種の証明書を期限までに提出しないと、履修制限がかかるので要注意。授業を受けた後でも履修期間中(学期が始まって2週間以内)であれば、授業を変更することができる。



先輩の平均履修科目数(学期毎) … 4.5 科目

## 授業について

基本的に講義形式で少人数編成(平均で15人くらい)。講義形式でも、常に学生間や学生と講師の間で質疑応答やディスカッションが頻繁に取られており、どの授業でも必ず発言の機会がある。どの授業も人数は少なかった。

レクチャー形式の授業は、常に生徒間や生徒と先生の間で質疑応答やディスカッションが頻繁に取られていた。Small Group Communication という授業は、先生の指導後は生徒が率先して授業を進めるディスカッションやイベント計画から遂行まで生徒主体で授業が行われていた。

予習は、基本的に授業ごとに指定された教科書の範囲を読む。日本よりも読み書きの量が多く、慣れるのが大変だった。

## 派遣先大学のサポート体制

渡航時の案内も親切で非常に助かった。困ったことがあれば絶対にサポートしてくれるので、基本的にサポート面では苦勞しないと思う(授業登録、寮、メディカルセンター等)。

語学においては、Basic Writing といって、英語が母国語ではない学生のために基礎的なアメリカでのライティング方法を勉強するクラスが開講されていた。また、チュータリングセンターといい、現地の学生がエッセイを添削するといった、学生同士で勉強をサポートするシステムがあった。

Friendship Family という制度があり、現地に住む人と週末や放課後に食事をしたりした。

## 現地の到着空港から大学(寮)までの移動

渡航前にターミナル別の空港の地図と、「空港内で迷ったらこの画面を見てね」といったメールが送られてくるなど、サポートがあった。

## 入寮する際に購入したもの

寝具セットは渡航前に注文しておく、到着初日から布団で寝れるので、事前に注文しておくことをお勧めします。ただ、事前に注文できる寝具セットは高いので、現地に到着してから買いに行くのもアリだと思います。

## 寮の周辺情報

近くのスーパーまで徒歩 15 分ほど。

## 食事(ミールプラン)

基本的にキャンパス内のミールカードが使えるところで食べていましたが、自炊をしていた人もたくさんいました。

## 現地での交通手段

交通の便が悪く、バス等の交通機関はない。基本的に移動は、徒歩か車かタクシー。とても寒い地域なので徒歩はかなりきついで、アメリカ人の友達を作って、車に乗せてもらいましょう。

## 派遣先大学に対する感想

少人数かつ質問がしやすく、比較的先生と学生の距離が近いという印象を受けた。日本人が少ないので、英語を話すという環境としてはとても恵まれている。また、留学生同士のイベントが多く、留学生の友達作りやすい。特に東アジア(中国・韓国)からの留学生が多く、各国の祝日を祝うイベントなども行われていた。現地のアメリカ人の友達を作るには若干の努力が必要だと感じる。

想像以上の田舎でしたが、Friendship family 制度やクラブ活動が多かったため、あまり退屈せずに過ごすことができた。

## 留学中に行った旅行

周辺地域での観光等は期待しない方がいい。

## この大学への留学を希望する人へのアドバイス

北部なので、11月から寒くなるため、冬物の準備をしていくことをお勧めします。また、日本食は手に入りにくいので、必要であれば保存食を持っていくこともお勧めします。服も買う場所がないので、夏・春秋・冬それぞれ1週間分くらいの服を持っていくといいと思います。

寮や生活費が安くすむため、大型連休時に行く旅費にお金を使えるのはいいことだと思います。



## 履修について(最低履修科目数・履修時期・履修方法など)

最低履修科目数は12単位。担当の教員と面談を行って、どの授業を取るべきか話し合い、履修登録はインターネット上で各自行う。人気の授業はすぐに定員に達するため要注意。基本的に留学生は学部に関係なく好きな授業をとれるが、3・4年生向けの授業には履修条件があるので、履修できない場合もある。



先輩の平均履修科目数(学期毎) … 4科目

## 授業について

基本的に意見を述べることで授業が進んでいくクラスが多数でした。

ほとんどのクラスではテストが何度か実施され、テストの代わりにプレゼンテーションで評価を行うクラスもありました。ENGLのみ留学生向けのクラスで、その他は現地学生と一緒に受講していました。前回の授業で行ったワークが次回の授業につながるので、毎回授業で予習復習を行っているようなものでした。

## 派遣先大学のサポート体制

希望者には会話パートナーが無料でつきます。ある程度は、趣味や興味が共通する人同士がマッチングされるので、たくさんの友達を作るきっかけになりました。また、アメリカの生活を体験するためのホストファミリー制度もあります。ハロウィンやクリスマスなどのイベントごとに一緒に過ごしている留学生もいました。

言語面においては、Skill Zoneという英語サポートセンターがあります。チェックしてほしい文章を持っていくと、ネイティブの学生ボランティアが丁寧に添削してくれます。文章だけではなく、プレゼンテーションの仕方や、時には就職面接の練習にも付き合ってくれます。

## 寮

寮の部屋に発火する可能性のあるものを置けなかったため、炊飯器やコンロ類はすべて禁止されていました。電子レンジはあったので、電子レンジで作れるもの(ご飯が炊ける、パスタが茹でられる等)を100均で買っていくことをお勧めします。

## 派遣先大学に対する感想

大学生によって町が成り立っているといっても過言ではないくらい小さな田舎町にある大学でした。日本人学生が少ないので、英語上達にはもってこいの環境でした。

## この大学への留学を希望する人へのアドバイス

田舎ですが、英語の訛りも特になく、日本に興味がある人も多くいたので友達作りには苦労しませんでした。ただし、なかなか手に入らないものも多くあるので、日本である程度調達してから渡米したほうがいいと思います。授業もたくさんの学部がある中で好きな授業を取れるのでお勧めです。



# CANADA

## カナダ留学について



日本から持参したほうがいいもの

生活用品	食品	その他
		ヒートテック



留学中の主なお金の管理方法

現地で 口座開設	クレジット カード	キャッシング	デビット カード	プリペイド カード	現金
50%	50%	0%	0%	0%	0%



### ビザ情報

オンラインで申請し、その後、東京の大使館で指紋等の採取を行う。

## 履修について(最低履修科目数・履修時期・履修方法など)

基本的には、5 コースを自由に選べる（ビジネスとマーケティング以外）。



先輩の平均履修科目数(学期毎) … 4.5 科目

## 授業について

課題とテストが多いが、内容がとても濃い。復習をしないとテストについていけない。

## 派遣先大学に対する感想

授業が始まると遊べなくなるくらい忙しくなりますが、学生がみんな真面目なので、一緒に勉強したりして、専門科目についての知識を固めることができます。

## この大学への留学を希望する人へのアドバイス

授業が幅広くあり、学習環境が充実しているので、学んできた専門を深めたい人におすすめです。ライティングが多いので、ライティングの基礎をしっかり勉強しておくといいと思います。



## 履修について(最低履修科目数・履修時期・履修方法など)

ウェブ上で履修登録を行う。最低履修科目数は特に必要ありませんでしたが、最大で5科目履修できます。コーディネーターの方には4科目が最適なのは、と言われました。



先輩の平均履修科目数(学期毎) … 4.5 科目

## 授業について

授業は、授業時間によって週1~3回ある。また、20名以下の少人数授業がお勧め。

予習では毎回大量のReadingが課されます。長崎大学での量と比べると何倍も多いので、大変でした。ただ、授業数は長崎大学の方が多かったので、予習・復習をする時間はたくさんありました。

少人数制の授業の方が(当てられる頻度は多いですが)先生との距離が近く、質問はないか、授業についていけているか気にかけてくれるので理解しやすく、楽しめました。

## 派遣先大学のサポート体制

レポート課題は、Writing Centre というところで添削してもらうことができる。

チューター(言語パートナー)をつけてくれるサポートもある。それとは別に、授業ごとにチューターをつけてくれる制度もある。ただし、希望者が多い場合は授業チューターの申請が通らないこともある。

## 寮

寮ではWiFiを使うことができました。

ルームメイトの子がとにかく優しくいい人で毎日家へ帰るのが楽しみでした。その子は夜に勉強が一段落すると「紅茶飲む？」などと誘ってくれて、一緒に飲みながら話をしている時間が好きでした。

## 寮の周辺情報

スーパーまでバスで15~20分かかり、冬は特に乗り換えなどバス停で待つことが辛かったです。

## 派遣先大学に対する感想

大学が自然にあふれていて素晴らしかったです。キャンパス内で野生の鹿の群れを見かけることもできました。Free foodやPartyなどのイベントが多く開催されていて、学生の活動が活発でした。

## この大学への留学を希望する人へのアドバイス

寒さが尋常ではなかったため、暖かい服をたくさん持って行った方が良いです。しかし、室内は半袖でも過ごせそうなほど暖かいので、重ね着ができる薄手のものもあったほうが良いです。

Tim Hortons(コーヒーショップ)のベーグルが美味しかったので、ぜひ食べてみてください。





# UNITED KINGDOM

## イギリス留学について



### 日本から持参したほうがいいもの

生活用品	食品	その他
箸	味噌汁 日本の調味料 簡単に調理できる日本食	ヒートテック SIMカード(Three/VOXY) ナイロン袋やジップロック (環境保護の為、入手困難)



### 留学中の主なお金の管理方法

現地で口座開設	クレジットカード	キャッシング	デビットカード	プリペイドカード	現金
0%	72%	14%	14%	10%	0%



### 留学中に役に立ったアプリ

◆ First Bus : バス

◆ Trainline : 電車や長距離バスの予約



### ビザ情報

オンラインで申請後、必要書類を持参の上、東京もしくは大阪にあるビザ申請センターで申請する。  
※ 留学期間が1学期間の場合は、観光ビザで入国する(学生ビザは不要)。

## 履修について(最低履修科目数・履修時期・履修方法など)

最低履修科目数は、4科目。履修方法はきちんと日本語でサポートがあるので、心配なくて良い。履修できる科目には制限があり、自分が所属する学部から3つ講義を選ばなければならない。授業が始まって1週間以内なら履修登録の変更可能。

12月、1月、2月に休暇があるが、その休暇期間中に履修登録を行う必要があるため要注意。

経済系の授業は1学期につき1コマしか取れず、またIELTS6.5~7.0の語学力を求められることもあるので要注意。

バス等で片道40分はなれた3つのキャンパスを移動することになるので、履修登録する前に授業の実施キャンパスを確認しておくこと。



先輩の平均履修科目数(学期毎) … 4.3科目

## 授業について

Level 3(語学コース)、Level 4(大学1年)、Level 5(大学2年)、Level 6(大学4年)とあるが、Level 4とLevel 5の授業がおすすめ。

レクチャー1時間、セミナー1時間が基本。多くの授業で事前課題と参考図書が提示される。講義では、参考図書も読んできている前提で授業は進行する。成績評価は、留学生であろうが容赦がない。

オックスフォード・ブルックス大学のFaculty of Humanities and Social Sciencesは、多文化社会学部と似たような学部であるため、おそらく社会動態コース、共生文化コース、言語コミュニケーションコースと重なる授業が多い。

## 派遣先大学のサポート体制

日本人の先生もいるので、日本語でのサポートも受けられる。チューター制度やアカデミックな英語に対するサポートも充実しており、メンタル面に関しても相談できる場所がキャンパス内にある。

各学期に10回を上限とする課題やレポートの英文法や論文内容を英語のネイティブスピーカーの大学院生が添削してくれるサポートシステムがある。5回がメールでの添削、5回が対面での添削となる。

語学面に関しては、1年生や留学生向けにワークショップが開催されていた。普段の授業に関しても、それぞれの授業にワークショップが開催されるため、分からないところがあっても質問がしやすかった。また、1人1人にアカデミックアドバイザーがいて、困った時にメールをすると親身に対応してくれる。

留学生向けのイベントも多く開催されるので、友達が作りやすく、生活しやすい環境だった。

## 現地の到着空港から大学(寮)までの移動

ヒースロー空港に到着し、タクシーで大学の寮に行った。このタクシーは、事前にオックスフォード・ブルックス大学からメールで案内が届くため、そこから予約した。

## 寮

学生寮に住む学生は、特定のバスに無料で乗ることができ、それによってオックスフォード中をバスで行けるため、大変便利だった。

学期の途中でも寮の部屋の引っ越しは可能でした。

Paul Kent Hall には、2 種類のインターネットがあり、接続状況が悪くなることもあったが、生活に支障が出るほどではなかった。

## 入寮する際に購入したもの

寝具一式、掃除用具、食器

調理器具は、ルームメイトが購入したものを貸してくれたため、使わせてもらっていた。

## 寮の周辺情報

歩いて 10 分くらいの場所に安価のスーパーがあり、約 20 分歩くとショッピングモールがあり、生活するにはとても便利だった。

治安に関しては、住宅密集地のため比較的良さそうだったが、夜は人通りがほとんどないため、少し危険だと感じた。

- |        |   |
|--------|---|
| 《スーパー》 | Aldi…一番安い<br>Sainsbury's、TESCO…少し価格帯は上がるが幅広い食品が手に入る。日本食系も豊富。<br>Soul Plaza…アジアンスーパー |
| 《日用品》  | Pound land…とにかく安いし、大抵のものが手に入る<br>ASDA…おしゃれな日用品がある<br>Super Drug…薬局。安い。<br>Boots…薬局  |
| 《カフェ》  | Coffee Smith、Noseburg café…スコーンが美味しい<br>Taberu…高いが、日本食が一番おいしい                       |
| 《衣料品》  | Primark…かなり安い   |

## 寮から大学までの通学

「U5」のバスで約 10 分、もしくは徒歩約 35 分。

## 現地での交通手段

寮の目の前にバス停があり、街の中心部や大学まで行くにはとても便利だったが、平日はバスの本数が 1 時間に 3~4 本あるのに対し、土日祝日は 1 時間に 1 本くらいになる。平日は朝 7 時~夜 11 時くらい、土日祝日は朝 10 時~夜 2 時くらいまでバスが運行していた。

## 派遣先大学に対する感想

留学生に対するサポートがとても手厚く、図書館も 24 時間利用できるのもとても環境的に勉強しやすい大学だと思った。

## 留学中に行った旅行

【ロンドン】Oxford Tube というバスを利用すれば学生だと往復 10 ポンドでオックスフォードからロンドンに行くことができる(所要時間約 1 時間半)。ロンドン内は基本的にバスか地下鉄を利用。

【ウェールズ】大学主催の旅行プログラムに参加。イングランドとは異なる雰囲気観光地だった。

【コッツウォルズ】大学主催の旅行プログラムに参加。小さな村が集まっていて、田舎だった。

【ストラトフォード=アポン=エイヴォン】大学主催の旅行プログラムに参加。シェイクスピアのゆかりの街。

【ストーンヘンジ】大学主催の旅行プログラムに参加。世界遺産。

【ウィンチェスター】大学主催の旅行プログラムに参加。クリスマスマーケットが楽しめた。

大学側が積極的に観光バスを用意してくれて、観光スポットに格安で連れて行ってくれた。

## この大学への留学を希望する人へのアドバイス

オックスフォードの町自体が観光スポットで見飽きない。近くにあるオックスフォード大学の無料公開講座にも参加できる。



## 履修について(最低履修科目数・履修時期・履修方法など)

履修科目数は4科目が必修。単位数は各15単位。1科目150時間が一般的。

渡航前に履修希望をオンラインで提出し、イギリスに到着してから数日後に担当教員と履修相談会が行われる。全科目の責任者が集う履修相談会が開催されるので、その時点で履修科目の仮登録が完了する。1週間のお試し期間を得た後、再度、担当教員との面談を得て、正式な履修登録が完了する。

科目数が非常に多いため、予め全ての学部が行っている授業を確認して大体いくつかの選択肢を持っておくことが必要。



先輩の平均履修科目数(学期毎) … 4科目

## 授業について

1コマ1時間、基本的にLectureとTutorial/Seminarの2種類の講義から1つのモジュール(科目)が構成されている。チュートリアルはその週に行われたレクチャーと同じ講義テーマが設定されており、レクチャーの復習と発展のようなもの。人数は10~15人の少人数制であることが多い。

全授業、毎回予習リーディングがあり、リーディングが必修の場合もある。各授業の先生は本当に献身的で、質問や自分の意見を言うと、もっと良い改善策を提案してくれたり、技術サポートを行ってくれたり、理論と実践をしっかりとつなげてくれたため、非常に良い有意義な時間を過ごすことができた。

ほとんどの授業が対面で(2021年秋学期現在)、グループワーク(プレゼンや起業ゲーム、ドキュメンタリー制作)ができた。

## 派遣先大学のサポート体制

留学生にはパーソナルチューターが1人つき、到着後の履修登録や生活面で困った際にサポートをしてくれる。語学面に関しては、留学生向けにエッセイの添削支援のサポートがある。

## 現地の到着空港から大学(寮)までの移動

ヒースロー空港から大学側が手配してくれたので、自分の名前を持ったドライバーに連れて行ってもらい、キールのカギをダーウィン棟でもらって、大学寮へと向かった。

## 寮

【寮の建物名】Horwood：部屋は1人部屋/キッチン等は共有

【寮費の支払い方法】1学期分を一括払い

【寮でのネット環境】非常に良い

## 入寮する際に購入したもの

寝具(シーツ等)

## 寮の周辺情報

静かな森の中で鳥のさえずりが聞こえます。遊歩道や観測スペースもあるので勉強の間の休息に最高。Coop(スーパー)をよく利用した。割高だが、近くて便利。

## 寮から大学までの通学

歩いて5分で大学の中心に着きます。無駄な時間がなくて便利です。

## 現地での交通手段

バス、コーチ(長距離バス)、電車、飛行機をよく利用しました。バスで近隣の街へ出かけられます。

## 派遣先大学に対する感想

キャンパス内には、大学施設の他に教会、ジム、寮、カフェ、レストラン、スーパー、バーなどがあるため、キャンパスが一つの町のような印象である。大学自体は田舎にあるため、買い物など生活面で不便なことが多少あるが、大学内で必要最低限のものは購入でき、また、バスで近隣の町へ出かけることも可能である。勉強面では、開講されている授業数・種類が豊富であり、留学生でも比較的自由に履修登録が可能のため、満足することができる。

キールには自分の可能性をサポートしてくれる施設が整っていると思います。

## 留学中に行った旅行

イギリス国内は、Liverpool、Oxford、Portsmouth、London、Colne。

## この大学への留学を希望する人へのアドバイス

急用でない限り医者にかかることができないため、ある程度自然治癒に関する知識を持っておくといいかも。



## アバディーン大学(スコットランド)

Latest update: 2019

## 履修について(最低履修科目数・履修時期・履修方法など)

最低履修科目数は2科目(15ETC)。イギリス到着後に、BRPカード(生体認証付在留許可カード)を受け取り、大学でビザ確認を済ませないと履修登録ができないシステムになっているので要注意。

 先輩の平均履修科目数(学期毎) … 2科目

## 授業について

一つの授業は、週2コマの講義と週1コマの演習から成り立つ。演習の予習として20~40ページの論文を2、3本読み、講義と演習の復習として追加の論文を読むこともあった。

## 派遣先大学のサポート体制

勉強サポートは、担当教員とメールでやり取りをし、面談等の対応をしてもらった。

## 大学の周辺情報

近くにアジアの食材を取り扱っている店もある。学生向けのクーポンサイトが使えて便利。

## 派遣先大学に対する感想

授業は学生とのインタラクティブな講義が多く、自主的に参加できる環境だった。長崎大学と比べて講義時間が短い代わりに、読書課題が多く、自主的な予習・復習に費やす時間が長かった。学生用のオンラインツールや講義の資料・録音を利用できるのが非常に良かった。

## この大学への留学を希望する人へのアドバイス

アバディーンの街は風が強いので傘が役に立ちません。天気が崩れることが多いので、防水防寒性の高いジャケット・靴を持っていくことをお勧めします。冬場の日照時間が極端に短い。比較的安全な街だが、日没後はあまり一人で出歩かないこと。

まれにカードを取り扱っていない店があるので、遠出する時はある程度現金を持っていた方が良い。





# SPAIN

## スペイン留学について



日本から持参したほうがいいもの

生活用品	食 品	その他
		虫よけ(蚊対策) 証明写真



留学中の主なお金の管理方法

現地で 口座開設	クレジット カード	キャッシング	デビット カード	プリペイド カード	現金
0%	50%	0%	50%	0%	0%



ビザ情報

東京の大使館に行く必要がある。必要書類はスペイン大使館のホームページに記載。  
非常に複雑なので、大使館のホームページを熟読してください。  
申請と受け取りに2度、大使館に行かなければならないので、早めの申請をお勧めします。

## マラガ大学(マラガ)

Latest update: 2020

## 履修について(最低履修科目数・履修時期・履修方法など)

最低履修科目数は1学期につき3科目(18単位)。履修する授業の半分(50%)は、マラガ大学で所属する学部から取る。

大学のホームページから自分が希望している授業を選択し、仮登録を済ませ、指定の時期が来たら、そのページから用紙を印刷して、担当コーディネーターにサインをもらいに行く。サインをもらったら、留学生オフィスに行き(その際、オンラインで要予約)、履修の許可をもらう、という流れでした。

交換留学生は、学部に関係なく好きな授業を履修することができますが、その場合、履修する各学部のコーディネーターのサインが必要となるので要注意。

マラガ大学での英語開講の授業がとても少ない印象で、英語開講の授業でも英語が拙い先生もたくさんいらっしゃったので、最初の見極め・相性の確認はしっかりすることをお勧めします。



先輩の平均履修科目数(学期毎) … 3.2 科目

## 授業について

授業は基本的に90分で、週2コマ。プレゼンテーション(グループワーク)がほとんどの授業で実施されるので、グループワークをするための仲間を見つけなければいけないこともあり、そこで現地学生との交流ができます。

長崎大学のLACS同様、オンライン上のシステムで課題を提出しなければならない授業もある。評価方法(出席・プレゼンテーション・発言・テストなど)は、科目によって全く違うので、シラバスをよく読むことをお勧めします。ただ、シラバスはスペイン語しかなかったので、現地学生に翻訳を手伝ってもらいました。

## 派遣先大学のサポート体制

最初の3週間ほど、マラガ大学で勉強する学生に対して有料のスペイン語集中講義が開催される(200ユーロ)。その後のスペイン語学習は、マラガ大学のスペイン語学校(CIE)(3か月で約1,000ユーロ)や市内の格安語学学校に通ったり、無料の語学交換に参加したりと、方法はいろいろあります。

学習面や生活面を全体的にサポートしてくれる現地学生によるチューター制度もあります。また、留学生のためのイベントを定期的に開催してくれていました。

## 寮

大学には寮はありませんが、大学が提携するアパートがあります。

## 派遣先大学に対する感想

大学自体は非常に大きく、留学生も全世界から受け入れているので、グローバルな大学という印象です。留学生は、ヨーロッパ圏からが大半だと思います。

大学は市内から離れた場所にあるので、市内に住んだ場合、通学には時間がかかります(片道1~2時間)。

## この大学への留学を希望する人へのアドバイス

なかなか英語が通じないので、スペイン語を勉強したい方にはもってこいの場所です。リゾート地特有のゆったりとした環境なので、ゆっくりと充実した留学生活が送れます。

また、入国して90日以内(仮ビザが切れる前)に国家警察署(comisaria)に事前に予約をした上で、学生ビザの申請に行く必要があります。

スリには十分気をつけてください。アパートのデポジットを返さないオーナーもいるので、契約時にしっかり確認すること。大学が提携しているアパートに住んだ方が安心ではあると思います。





# GERMANY

## ドイツ留学について



日本から持参したほうがいいもの

生活用品	食品	その他
		コンセントのアダプター 延長コード



留学中の主なお金の管理方法

現地で 口座開設	クレジット カード	キャッシング	デビット カード	プリペイド カード	現金
100%	0%	0%	0%	0%	0%



## ビザ情報

日本のパスポートを保有している場合、学生ビザの申請は、現地到着後に行うことになる。まずは、住民登録をして、それから外国人局に行き、面接の予約を行う。予約した日時に外国人局に行く。その際、銀行の残高証明書や大学の在学証明書などを持参する。学生ビザのために、ドイツで銀行口座を開設する必要がある。



# NETHERLANDS

## オランダ留学について



### 日本から持参したほうがいいもの

生活用品	食品	その他
		紙の辞書 (試験の際、電子辞書は不可)



### 留学中の主なお金の管理方法

現地で 口座開設	クレジット カード	キャッシング	デビット カード	プリペイド カード	現金
100%	0%	0%	0%	0%	0%



### ビザ情報

渡航前に留学先大学に必要書類を提出すると、渡航先大学が移民局(IND)に申請してくれる。  
オランダに渡航する際は、旅行者ビザを使い入国する。  
入国後、INDに顔写真、指紋、サインを登録すると、1~2週間後に滞在許可証を受け取れる。

### 📢 日常生活のアドバイス

スーパーの営業時間が短い、レジ袋がない、自動販売機がない、コンビニがない、など日本での生活に比べ不便なことに最初は戸惑ったが、すぐに慣れた。

## 履修について(最低履修科目数・履修時期・履修方法など)

学期は、9～10月が period 1、11～12月が period 2、2～3月が period 3、4～6月が period 4 となっており、period ごとにオンライン(OSIRIS)で履修登録を行う。履修登録は、新しい period が始まる 2～3週間前からできた。

## 授業について

授業時間は 90 分だが、45 分が経過した後、15 分の休憩が必ずあった。

学生のレベルも、授業のレベルも高かった。想像以上に周りの留学生と自分の学力の差、語学力の差、学習効率の差を目の当たりにした。日本では経験したことのない量のリーディングやライティングを課され、授業についていくことに必死だった。

## 派遣先大学のサポート体制

留学生が受講できる有料のオランダ語コースがある。また、ライティングの添削をしてくれる Writing Center が図書館にあり、take home exam の提出前などに添削を受けることができる。

## 現地での交通手段

主に自転車を利用していた。自転車専用道路を初めて経験し、最初は仕組みが分からず逆走してしまったこともあったが、毎日乗っていたので、すぐに慣れた。

## 派遣先大学に対する感想

朝から晩まで使うことができる図書館やスポーツセンター、新しくできたフードコートなど、大学の学びの環境や設備は非常に充実していた。

## この大学への留学を希望する人へのアドバイス

リーディングの量が非常に多いので、留学前から英語の文献を読むことに慣れておくと良いと思う。英語のスピーキングも高めておくべき。周りのほとんどの留学生はネイティブ並みに話せる。





# AUSTRALIA

## オーストラリア留学について



日本から持参したほうがいいもの

生活用品	食品	その他
箸		コンセント変換プラグ 携帯電話の充電器 寿司が作れる道具 薬



留学中の主なお金の管理方法

現地で 口座開設	クレジット カード	キャッシング	デビット カード	プリペイド カード	現金
100%	0%	0%	0%	0%	0%



ビザ情報

オンラインで申請のみ。  
海外留学生健康保険(Overseas Student Health Insurance(OSHC))へ加入が必要。

## 履修について(最低履修科目数・履修時期・履修方法など)

授業は最低 3 科目、最高 4 科目受けることができる。授業は 13 回開講され、その後 Study Period が 1 週間半ほどあり、Exam Period が 2 週間ほどある。授業によっては Exam がなく、Report や Essay がその代わりにある科目もあります。

Course outline を閲覧することで、課題やプレゼンテーションの多さ、またその提出時期を前もって知ることができるので、履修科目を決める際に閲覧することをお勧めします。



先輩の平均履修科目数(学期毎) … 3 科目

## 授業について

基本的には、チュートリアル 1 時間とレクチャー 2 時間という形式だが、授業によっては逆の場合もある。レクチャーは大人数のクラスで、チュートリアルは少人数でレクチャーの復習をするクラスです。レクチャーはオンラインでも閲覧可能なので、何らかの理由でレクチャーに行けなかった場合や、復習をする際に利用することができる。

## 派遣先大学のサポート体制

Academic Skill Support があり、レポートのチェックをしてくれます。また、週に 1 度 English class があり、英語が母国語でない生徒が英語を話すというクラスが開かれています。

## 寮

寮は 3 つあり、中でも人気があるのは、Uni Central と Varsity です。それぞれの家賃はあまり変わらないのですが、設備に少し違いがあります。大体の部屋が 4 人部屋で、キッチンとコモンスペースが共有、そして 1 人ずつユニットバス付の個室があります。

Uni Central は、WiFi が家賃に含まれておらず、毎月購入する必要がありますが、その代わりに部屋に洗濯機と乾燥機があるので便利です。

Varsity では月 10GB が家賃に含まれていますが、その代わりに部屋に洗濯機と乾燥機がなく、コインランドリーを使用する必要があります。

## 派遣先大学に対する感想

授業内容がしっかりしており、先生にメールで質問した際にも、返事が早かったです。学びやすい環境を提供してくれていると感じました。シラバスには、課題の種類や日程が明記されているので、スケジュールも組みやすいです。

自然に囲まれた大学なので、キャンパス内でカンガルーや鳥などの動物を見ることができます。大学周辺には生活に困らない程度のお店があり、図書館も 24 時間利用可能なので、勉強に集中できる環境が整っています。

## この大学への留学を希望する人へのアドバイス

授業で分からなかったところも、オンラインレクチャーで見直し、チューターに積極的に聞くことをお勧めします。

マリンスポーツやハイキングなどオーストラリアならではの環境がたっぷり味わえます。アジア人自体が少ないので、多国籍な友達ができると思います。

## 履修について(最低履修科目数・履修時期・履修方法など)

最低履修科目数は3科目で、最大4科目を1セッションの中で履修することができる。セッション2は、7月2日～授業が始まり、7月15日までに興味のある授業を受けて、履修するか否かを最終決定する。全ての授業は9月28日に終わり、10月2日～12日が期末試験期間になる。履修登録はオンラインで行う。



先輩の平均履修科目数(学期毎) … 3科目

## 授業について

Sustainable Tourism の授業は、1時間のオンラインレクチャーと2時間のチュートリアルで構成されていた。毎回、チュートリアルの前に、レクチャーをオンラインで受けることと指定されたリーディングを読むことが予習として課されていた。復習は、チュートリアルの内容を確認したり、ディスカッションの内容をまとめたりします。

Hospitality Service Management の授業は、1時間のオンラインレクチャーと2時間のチュートリアルで構成されていた。基本的には、Sustainable Tourism と同じだが、チュートリアルの中でグループアクティビティに費やす時間が多く、定期的のその成果を提出していた。

Aboriginal Cultural Strengths の授業は、2時間の対面レクチャーと1時間のチュートリアルが続けられていた。レクチャーはパワーポイントを使ったプレゼンテーション形式で、時々ゲストスピーカーが講義を行うこともあった。チュートリアルでは、毎回ビジュアルアートとしてお題からイメージしたものを描き、それをクラスメイトたちとつなぎ合わせてコネクティブアートを完成させます。それを基にヤーニングサークルを作り、それぞれの感情を語り合います。予習では、指定されたリーディングを読み、復習は授業の内容を整理することを主に行っていた。

## 派遣先大学のサポート体制

ほぼすべての面において手厚いサポート体制が整えられています。語学や勉学に関しては、図書館の Academic Skills という予約制の個人相談において、文法や語彙に関する質問からエッセイの構成や内容に関することまで相談することができます。メンタルや生活に関することは、学生課やインターナショナルオフィスの方々が大変親身になってサポートして下さいます。

大学の中にジャパンセンターがあり、日本語で相談できる人がいたのも心強かったです。

## 寮

Orion, Magellan, Sirius の3種類から選ぶことができますが、Orion は毎週のようにどこかのユニットでパーティーが行われていたため、勉強に集中したい学生は、比較的静かな Sirius かホームステイを選んだ方が良いと思う。

## 現地での交通手段

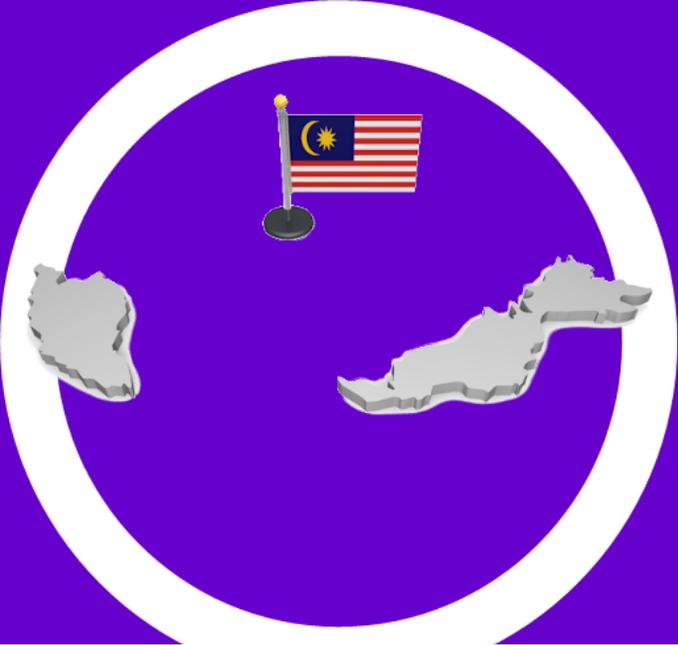
寮生のために週1回ショッピングモールまでシャトルバスが出ているため、困ることはありませんでした。

## 派遣先大学に対する感想

授業の内容からキャンパスの雰囲気、周囲の人々など、恵まれた環境の中で勉強も課外活動も充実した生活を送ることができました。リズモアキャンパスは美しい自然に囲まれ、野生のコアラやワラビーを見かけることもできます。

週に1~2回程フリーランチが提供され、学生に非常に優しい大学でした。





# MALAYSIA

## マレーシア留学について



日本から持参したほうがいいもの

生活用品	食品	その他
		薬 長袖(室内は寒い) 変換プラグ



現地で調達できるもの

基本、現地のイオンや100均で購入できます。有名な日本食も大体手に入ります。



留学中の主なお金の管理方法

現地で口座開設	クレジットカード	キャッシング	デビットカード	プリペイドカード	現金
50%	0%	50%	0%	0%	0%



留学中に役に立ったアプリ

Grab, Uber(タクシー配車アプリ)

## 履修について(最低履修科目数・履修時期・履修方法など)

最低科目数は、所属する学部によって違う。Mass Communication の場合は 32 単位でした。履修時期は、授業が始まる 2 週間前から授業開始 1 週間後くらいまで。履修は、ポータルサイトで行えるが、学務の人に言えば紙をもらえ、それを学務長に自分で渡す方法もある。



先輩の平均履修科目数(学期毎) … 4 科目

## 授業について

100 人程度で受ける講義形式(2 時間)と、30 人程度で受けるチュートリアル形式(2 時間)の授業で 1 科目分(計 4 時間)となります。主な課題は、グループでのレポートやプレゼンテーションなので、チュートリアルの授業時間は、先生に課題の質問をしたり、プレゼンテーションを行う時間にあてられていました。

授業の前の週くらいに先生がレジュメをアップしているので、それを元に予習することができる。復習は、復習用の問題集のようなものがあるので、それを活用する。

## 派遣先大学のサポート体制

到着してから生活に慣れるまでは、バディと呼ばれる上級生がケアしてくれます。

## 寮

WiFi はついていますが、たまに弱くて使えないこともありました。

学生寮ではなく、DK senza をお勧めします。

## 現地での交通手段

大学からはバスが 30 分おきに出ており、1 回 25 円くらいなので、どこまでも行ける。また、Grab や Uber などのタクシーアプリがとても発達しており、基本タクシーにしか乗らなかつた。そのため、現地での携帯は必ず必要だと思う。

## 派遣先大学に対する感想

先生方がインド系・中華系・マレー系・ヨーロッパ系と、多種多様なバックグラウンドを持っているので、色々な考え方に触れることができるのが魅力だと思います。

学校も教室もとてもきれいで、近くにレストランが 20 近くあるので、食事にも困りません。多文化社会なので、料理も様々な国のものが食べられます。図書館も広く、使い勝手がとてもよかった。

## この大学への留学を希望する人へのアドバイス

国柄として、のんびり、親日家、大雑把な人が多いです。様々な国の人と関われるいい場所だと思います。



# BRUNEI

## ブルネイ留学について



日本から持参したほうがいいもの

生活用品	食 品	その他
	日本食	あまり肌を出さない洋服 厚手の上着(室内は極寒)



留学中の主なお金の管理方法

現地で 口座開設	クレジット カード	キャッシング	デビット カード	プリペイド カード	現金
0%	0%	0%	0%	0%	100%

## 履修について(最低履修科目数・履修時期・履修方法など)

最低履修科目数は4科目で、最高は5科目。履修方法は長崎大学と同じようにオンラインで学期開始直後に履修するモジュールを登録する。

 先輩の平均履修科目数(学期毎) … 4科目

## 授業について

1つのモジュールにつき、基本的に週2時間の講義(座学)と2時間のチュートリアル(少人数でのプレゼンテーション・ディスカッション)の授業がある。課題は、グループレポートとグループプレゼンテーションが多く、一人でやるものはあまりありませんでした。

予習に関しては、授業を担当する教員が課す予習論文を熟読することが求められました。それに加えて、本や論文を読む必要があるモジュールもありました。

## 派遣先大学のサポート体制

生活面ではブルネイ大学のボランティア学生が買い物からビザの手続きに至るまで到着直後からサポートしてくれました。

個人部屋に有線LAN、大学全体にWifiがありました。

## 派遣先大学に対する感想

大学のサポート体制に関しては、日本と比べると雑な印象はありました。しかし、授業や生活のサポートに関しては非常に良い大学だったと思います。授業は内容や課題などが大変な時もありますが、数少ない留学生ということで、よく気にかけてくれたので助かりました。

生活のサポートも現地学生らが助けてくれるので、基本的に快適に過ごすことができました。

## この大学への留学を希望する人へのアドバイス

人が優しく、治安も非常に良かったので、暮らしやすかったです。助けてくれる友達をたくさん作ることは重要だと思いますが、少しだけフレンドリーになる努力をすれば、すぐに友達はできる環境だと思います。ご飯も色々種類が豊富で、安くて美味しかったです。ただ、室内が極寒だったので、室内では厚手の服があるといいと思います。

2学期間(1年間)留学する場合は、移民局で在留許可証を入国後に取得する必要があります。



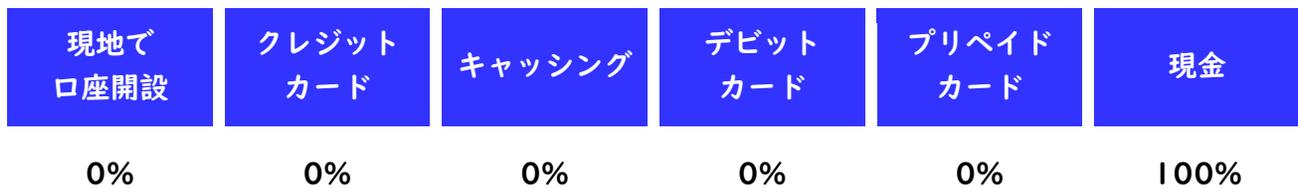


# PHILIPPINES

## フィリピン留学について



### 留学中の主なお金の管理方法



## 履修について(最低履修科目数・履修時期・履修方法など)

最低履修科目数はない。ただし、1学期あたりに登録できる単位数に上限があり、学部ごとに異なる(例:経済学部は1学期あたり18単位まで登録可能)。複数の学部にまたがって履修することも可能。

留学生の履修時期は、学部開始の1週間ほど前に始まる。直接、各学部の事務へ行き、定員に達していない科目を登録することができる。



先輩の平均履修科目数(学期毎) … 4科目

## 授業について

経済学部の場合、授業への直接的な参加や小テスト・試験が多めだった印象。その代わり、レポート提出はあまりなかった。

予習は教科書を読み、場合によっては先生の指定する資料や論文を読む。復習は、宿題で問題が数問出され、次回の授業で提出となることがあった。

## 派遣先大学のサポート体制

各学部が試験前などに勉強会を開くことがあった。一部、過去問の入手もできた。

メンタル・生活面に関しては、学生主催のワークショップが定期的に開かれていた。

## 寮

寮は2つから選ぶ。インターネットは、不安定で遅い。寮では料理ができないため、外食が続く。

## 派遣先大学に対する感想

キャンパスそのものは非常に広大かつ自然豊かだった。寮のすぐ近くに保健室のような施設があり、医師と看護婦がいる。留学生も無料で診察してもらえるが、薬や血液検査などは有料。

## この大学への留学を希望する人へのアドバイス

国際開発に関わりたいと考えている人にはお勧めの留学先です。

キャンパス街では治安に気がついた方が良い。タクシーはスマホアプリで予約出来て、値段も安いので積極的に利用した。



# CHINA

## 中国留学について



### 日本から持参したほうがいいもの

#### 生活用品



#### 食品

日本の食材  
調味料

#### その他

マイナンバーの写し  
(銀行口座開設に必要)



### 現地で調達できるもの

基本必要なものは安く手に入ります。  
こだわりがなければ日本から持ってくるものはそんなに気にしなくて大丈夫。



### 留学中に役に立ったアプリ

百度地図…交通機関の乗り方・目的地への行き方が分かるアプリ  
淘宝…買い物アプリ  
携帯の電子マネーが発達しているので、なんでも携帯で支払うことができます。



### ビザ取得

日本で1か月のビザを取得し、中国で延長するシステム。中国の保健所に行って、健康であることを証明し、結果を取りに行かないといけない。保健所と学校と公安を行ったり来たりすることになる。

### 履修について(最低履修科目数・履修時期・履修方法など)

交換留学生に決まりなどもなく、1年生から4年生の時間割を渡され、その中から履修したい授業を自分で好きに選び、紙に書いて担当の先生に渡した。



先輩の平均履修科目数(学期毎) … 5科目

### 授業について

国際関係学部は、国際関係学部の留学生向けに中国語の授業も開講してくれるため、専門の授業に加えて、中国語も勉強できる。

専門の授業の課題は、中間・期末以外はほとんどないが、授業によっては、毎週リーディング+関連する発表などがあつた。基本、専門の授業は、中国語で必要最低限の語学力が必要。

授業の内容が充実していた。専門に関してははっきり基礎から学べる。

### 派遣先大学のサポート体制

学校内に病院があり、何かあつた時はまず校内の病院で診察してもらうことができる。校内で診察できない場合は、病院を紹介してくれる。

語学に関しては、中国語の授業は行われるが、レポート添削などのサポートはなかつた。中国人の友人や English speaker の友人に添削してもらっていた。

### 現地の到着空港から大学(寮)までの移動

空港まで大学の人が迎えに来てくれて、そのまま寮まで連れて行ってくれた。

### 寮

空港から到着後、そのまま寮へ行き、その場で部屋を割り当てられた。寮に関する問題は、管理人に相談することができる。

インターネット代として月に別途60元かかった(1か月目は100元)。

### 派遣先大学に対する感想

キャンパス内は自然が多く、綺麗。体育館、図書館などの施設も整っている。

立地が良いので便利。交通機関も充実していて、学校の周りにスーパーやレストランも多く、不便なことはほとんどない。

## この大学への留学を希望する人へのアドバイス

中国語が必要最低限出来て、国際関係という専門を学ぶ意欲があるならば、絶対におすすめの学校です。国際商学部(IBS)もあります。そちらは全て英語で授業は開講されていますが、かなり専門的に経済を学ぶので、留学前にしっかりと基礎がなければいけません。

大気汚染がひどい日は、必ずマスクの着用が必要です。

# Partner Universities

## 多文化社会学部 募集枠

No.	国/地域	協定校
1	アメリカ	カリフォルニア州立大学モンテレーベイ校
2		ベネディクティン大学
3		ノーザン州立大学
4		ノースイースタン・イリノイ大学
5		ペンシルバニア州立インディアナ大学
6		モラヴィアン大学
7		ミネソタ州立大学マンケイト校
8	カナダ	ニューファンドランドメモリアル大学
9		ウィニペグ大学
10		カルガリー大学
11		レスブリッジ大学
12	オーストラリア	エディスコワン大学
13		ウエスタンシドニー大学
14		サザンクロス大学
15	イギリス	キール大学
16		アバディーン大学
17		オックスフォード・ブルックス大学
18	フランス	パリ東＝クレテューユ大学 経済経営学部
19		ブルゴーニュ大学
20	ベルギー	ルーヴァン・カトリック大学 文学部
21	オランダ	ラドバウト大学
22		ライデン大学 人文学部
23	ポルトガル	新リスボン大学
24	スペイン	マラガ大学
25		セビリア大学
26	フィリピン	フィリピン大学ディリマン校
27		アテネオ・デ・マニラ大学
28	ブルネイ	ブルネイ・ダルサラーム大学
29	マレーシア	テイラーズ大学
30	タイ	タマサート大学
31		カセサート大学 経済学部

※ 2022年4月現在（協定状況により予告なく変更となる場合があります。）

## 留学支援課 募集枠

No.	国/地域	協定校
32	アメリカ	モンタナ大学
33		アーカンソー工科大学
34		北アリゾナ大学
35	メキシコ	メキシコ西部工科大学
36	イギリス	ランカスター大学
37	フランス	アンジェ大学
38	ベルギー	モンス大学
39	イタリア	カ・フォスカリ大学
40	ドイツ	ゲオルク・ジモン・オーム大学ニュルンベルク
41	中国	華東師範大学
42		吉林大学
43		西北大学
44		陝西師範大学
45		天津師範大学
46		北京外国語大学
47		中国社会科学院大学
48	香港	香港浸会大学
49		香港教育大学
50	台湾	国立政治大学
51		国立台湾大学
52		国立台湾師範大学
53		成功大学
54		亞洲大学
55		中国文化大学
56	韓国	東国大学校
57		亞洲大学校
58	タイ	チェンマイ大学
59		チュラロンコン大学
60		マヒドン大学

※ 2022年4月現在（協定状況により予告なく変更となる場合があります。）



Blank writing area with horizontal dashed lines.

多文化社会学部 留学相談室 / 学務第一係



[hss\\_ryugaku@ml.nagasaki-u.ac.jp](mailto:hss_ryugaku@ml.nagasaki-u.ac.jp)

